

中学校 食 『横浜型スクールランチの実現に向けた取り組み』

公明党横浜市議団は、これまで、市立中学校における望ましい昼食のあり方について、食育や女性の社会進出などの観点から、家庭弁当との選択制で、栄養バランスの取れた複数のメニューから選べる横浜型スクールランチの導入に向けて取り組んでまいりました。

名古屋市、大阪市、新潟市や相模原市など他政令市で実施されている中学校昼食を視察し、その実態からも財源・販売価格・効率的な運営方法や食育も含めた食べ残し対策等、横浜型スクールランチ導入に向けた調査や課題の整理などの調査研究を進め、本会議や委員会での議論を積極的に行ってきました。

その結果、平成26年度予算に、全市立中学校において、栄養バランスのとれたランチの提供に向けた調査やアンケートを行う費用が計上されました。具体的な取り組みとして、

- ①栄養バランスの取れた温もりあるランチを、デリバリー方式などで導入できるかどうかを検討するにあたり、配膳スペースの把握や敷地内動線などハード面の現況調査
- ②献立指導の方法や昼食準備に必要な時間の工夫、保護者負担などのソフト面の調査
- ③調査にあたって、学校関係者の声を反映するため、生徒・保護者・教員等へのアンケート

これらを踏まえて、27年度には横浜型スクールランチのモデル実施を行えるよう、議員団として全力で取り組んでまいります。



西区在宅医療連携拠点を視察(H26.2)

地域包括ケアシステム&在宅医療連携拠点

公明党は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その一環として医療と介護の連携を進める在宅医療連携拠点の整備を推進してきました。昨年11月にスタートした西区のモデル事業に続き、今年度は新たに市内2区で事業を展開します。

私立幼稚園の就園奨励補助金制度が変わります

幼稚園に通っているお子さんで、小学校1〜3年生の兄弟が1人いる場合に、補助金が増額されることになりました。補助金額は世帯の市民税額などによって異なります。詳しくは、横浜市のホームページの「こども青少年局」のページをご覧ください。ただ、各幼稚園にご確認ください。



新潟市内の中学校に設置されたランチルーム(H26.1)



市内のモデル実施校を視察(H24.7)



スクールランチ食券予約機(新潟市)



相模原市でのヒアリング(H26.1)

平成26年度予算特別委員会から

市民局 「スケートリンクの代替施設について」



中島 光徳 (戸塚区選出)

ウィンタースポーツ振興の貴重な拠点となっている神奈川スケートリンクは、開設から65年以上が経過し、老朽化も著しいことから、その再整備とその間の代替施設について質問しました。

局長は、神奈川スケートリンクが市のアイススケート振興の貴重な拠点であることから、現在のスケートリンクがある市有地の減免貸付を継続することや、代替リンク用として旧市立横浜総合高校の体育館を貸与していく旨、答弁しました。

資源循環局 「古紙の資源集団回収について」



高橋 正治 (緑区選出)

資源集団回収の効果について質問しました。

局長は、リサイクルを安定的に推進することができ、登録団体の活動を通じて、地域コミュニティの活性化が図れる効果があると答弁しました。また燃やすごみに混ざっている古紙を減らす対策について質問しました。

局長は、燃やすごみの約10%を占める古紙を資源集団回収に出していただくため、チラシ等で周知していく旨、答弁しました。



建築局 「空き家対策について」



安西 英俊 (港南区選出)

地域では解決できない空き家に係るべきと提案しました。

副市長は、空き家に関する地域の課題を解消するため、市内の連携を強化し、所有者への指導、危険な空き家の除却を進める支援策、空き家の発生を防ぐ方法、利用可能な空き家の活用方策などについて検討を進め、積極的に対策を講じていく旨、答弁しました。

総務局 「防災・減災における海外との都市間交流を」



竹内 康洋 (神奈川区選出)

防災・減災をキーワードに横浜市と海外との都市間の協力関係を深めていくことは非常に重要であると訴えました。

副市長からは、横浜市がアジア太平洋地域において、80数都市が加盟しているシティネットの防災部会長に選ばれており、より一層、横浜市が有する防災・減災のノウハウによる協力関係を深めることが重要であると考えている旨の答弁がありました。

港湾局 「超大型客船の受け入れについて」



福島 直子 (中区選出)

横浜港の客船寄港数は、昨年まで11年連続日本一を達成しています。今後の船の大型化への対策について質問しました。

局長は新港埠頭9号を耐震強化岸壁に改良し客船も停泊できるようにするとともに、本牧ふ頭A突堤を多目的ふ頭に変更することで、ベイブリッジを通過できないような超大型客船の停泊・入管を可能にするよう調査・設計を行うと答弁しました。

教育委員会 「全市立学校の空調設備について」



高藤 真一 (都筑区選出)

全市立学校の普通教室への空調設備の設置は25年度末で完了しました。これに引き続いて、全市立学校の音楽室、理科室等の特別教室の空調設備についても早急に整備すべきと訴えました。

教育長は、26年度は、特別教室を特別支援教室と兼用している24校に設置し、残る教室にも早急に整備できるよう関係局と調整すると答弁しました。



道路局 「路面下空洞調査の進捗状況について」



尾崎 太 (鶴見区選出)

防災・減災の観点から、公明党横浜市議団の主張により実施された路面下空洞調査の進捗状況について質問しました。

局長は、調査の重要性を再認識するとともに、これからも災害時における道路の通行機能の確保を図り、市民の安全・安心を確保するため、スピード感を持って、路面下空洞調査に取り組むと答弁しました。